

わが望みなる主に栄光～

生ける神の力を体験した後、神の愛と恵みが心に刻まれ、その方の栄光のために生きるようになった誇らしい万民の青年。

光の中を歩みなさい

イエス・キリストを受け入れてみことばどおり行えば、光である神と交わりを保ち、求めるものは何でも答えていただける。

「堂会長先生のいやしの祈り、最高です！」
手首の結節腫、肩の石灰などの問題がイ・ジェロク牧師のいやしの祈りで解決された聖徒たちが驚くべき神の恵みを伝える。

支教会3月スケジュール

「まことの信仰に変えられていくので幸せです！」

いのちのみことばで新しく生まれて恵みを分かち合うと、ホンジュラスに支聖殿が建てられ、祝福されているエクトル・アントニオ・アヤルラ聖徒の証し。

万民ニュース

第196号 2019. 2. 24.

MANMIN NEWS

TEL: 82-2-818-7063

www.manmin.org

「拒食症がいやされる奇跡を体験した後、新しい人生が始まりました！」



拒食症(神経性食欲不振症)は食べることを極端に拒否したり恐れたりして、ひどい場合、栄養不足で死に至ることもある恐ろしい病気である。

再発の可能性が非常に高く、死に至ったケースもたびたびあるが、

全知全能の神により頼んで拒食症がすみやかにいやされたキム・ヘウン姉妹(28歳)の証しを通して、生ける愛なる神にすべての感謝と栄光を帰す。

小学校5学年、その時の出来事は私の生き方を完全に変わってしまいました。ある日、友だちと撮った写真を見たのですが、ちょっとふっくらしているほうだなとだけ思っていた私の顔がとても太っているように見えて、他の子たちよりかわいくないと感じたのです。私は直ちにダイエットを決意して食事量を減らしました。すると自然にやせておもしろかったのですが、ある瞬間から、やせればやせるほど中毒になったようです。

後になると、においだけかいでもお腹がいっぱいだと言い訳して、母が食事を用意してくれても、食べ物を服の中に隠して「全部食べた」と言いました。また、ちょっとテーブルに座る時間以外は、太るのではないかと一昨日中立っていました。こんなおかしい行動に驚いた母は私を連れてクリニックセンターに行きました。「拒食症です。神経精神科の治療を受けなければならないのですから、大きい病院に行かれたほうがいいでしょう。」

約2か月で私の体重は25kgに減り、こけたように骨だけ残って、それこそ死体のような姿になりました。脚はいつも真っ青なアザができたように見えていたし、髪は栄養不足で一握りずつ抜けたし、夜眠れなくて悲鳴をあげていました。

ついに私は母と一緒に神の力ある祈りを受けに堂会長イ・ジェロク牧師先生のところに行きました。

「太ったと言うからといって、無理してやせてどうするの。そんな負ける気な心は捨てなければ…」と言って、切に祈っていただきました。

その後、驚くべきことが起きました。夜もよく眠れるし、食欲が戻って来て、あれこれ食べて消化もよくできて、間もなく健康を取り戻したのです。ハレルヤ！

奇跡のような出来事でした。世の医学ではどうすることもできなかった拒食症が祈りでいやされた後、私には霊肉ともに大きい変化が起きまし

た。神様の愛と恵みが心の奥深く刻まれたし、その恵みに報わせていただく娘になりたいと切に思うようになって、学生の本分である勉強に最善を尽くしました。中学の時は全校3位、高校の時は全校1位、大学の時は学科首席にも何度かありました。

拒食症は治療も難しいのに完治はさらに難しく、モデルの中にも死亡した方たちがいます。それで、神の力でないなら私も拒食症で死ぬしかなかったということを、いつも忘れないで生きてきました。大学生の

時から、神様に栄光を帰して大いに用いられる働き人になるために多様な力量を備えようと、いろいろな大会や公募展に出場して賞を頂きました。今はフリーランスのアナウンサーをしていて、最近では地域の放送局の広告モデルにも抜擢されました。

私の夢であり究極的な目標は、全世界170余か国にいのちのみことばと神の力あるわざを送出しているGCN放送のアナウンサーになることです。人々に創造主なる神様とイエス・キリストを伝えられるということが、どれほどすばらしくて幸いなことでしょうか。

私たちがこの地上で生きていく理由は、人間の自分が何かを知って、神様を恐れてその命令を守り、永

遠に神様と愛を分かち合えるまことの子どもになることです。このように私がどう生きるべきか教えて、ご自身で手本になってくださった堂会長先生に感謝します。まだ欠けたところの多い私ですが、毎日キリストの香りを放つために努力していきます。

何よりも拒食症をいやし、まことの人生の目標に向かって価値ある生き方をしていけるように導いてくださる慈しみ深い三位一体の神様に、すべての感謝と栄光をおさげします。

photo view

▼当時小学校5年生だったキム・ヘウン姉妹は堂会長イ・ジェロク牧師の祈りを受けた後に拒食症がいやされた。



「神は光であって」シリーズ3

光の中を歩みなさい

「しかし、もし神が光の中におられるように、
私たちが光の中を歩んでいるなら、私たちは互いに交わりを保ち、
御子イエスの血はすべての罪から私たちをきよめます。」

- 第一ヨハネ1:7 -

“

イエス・キリストを受け入れてみことばどおり行い、光である神と交わりを保つとき、御子イエス・キリストの血はすべての罪から私たちをきよめることができになり、私たちは神に栄光を帰す生き方ができる。

”

堂会長イ・ジェロク牧師

人はそれぞれ交わる程度によってその親しさも違って、愛を分かち合う程度が違って、事を遂げるのが違って来る。まして全知全能の神と交わりを保っているなら、求めるものは何でも答えていただけるので、すべてが栄えるのだ。それなら、私たちは光である神とどのような交わりを持たなければならないだろうか。

1. 昔の信仰の人々のように神と交わりを持つには

ダビデは神を愛して恐れかしこみ、すべての事について神に全面的により頼んだ。サウル王に追われて逃げ回っている時や、戦争に出て行って戦う時も、いちいち神に伺ってそのまま行っただけで、行く所はどこでも勝ち続けられたのだ(IIサム5:19~25)。ダビデが光である神とこのような関係を築き上げることができたのは、信仰によって神に喜ばれたからである。

サムエル記第一17章を読むと、サウル王がイスラエルを治めていたとき、ペリシテの軍隊が上がって来た。ペリシテの巨大な代表戦士ゴリヤテがイスラエル軍をあざけて、神の御名をなぶっていたのに、勇気をもって立ち向かう人がいなかった。当時ダビデは少年だったが、イスラエルの全能者、神である【主】を信じたし、この戦いは【主】の戦いであることを信じた。それで、信仰によって石五つを持って万軍の【主】の御名によって大胆にゴリヤテに近づいた。

神はダビデの投げた石がゴリヤテの額に食い込むように、すべてを働かせて益としてくださった。そうし

てゴリヤテが倒れて戦いの形勢が逆転し、イスラエルが完全な勝利を収めるようになったのだ。このようにダビデは信仰が堅かったので、神のお心にかなう者として認められ、まるで父子の間で大小の事を論じるように、神とすべてをともになすことができた。

また、人が自分の友と語るように、神は顔と顔とを合わせてモーセに語られた。モーセが大胆に神の御顔を拝見することを求めたとき、神は何としてでもその願いを聞き入れようとなさった(出33:11~23)。

出エジプト記32章を読むと、モーセがシナイ山に上って四十日間神と交わっているとき、イスラエルの民はモーセが降りて来るのに手間取っていると、その間に偶像を造って、自分たちに先立って行く神として仕えた。これに対して神は、イスラエルの民を絶ち滅ぼす、代わりにモーセを大いなる国民としよう、と仰せられた。するとモーセは「今、もし、彼らの罪をお赦し下されるものなら――。しかし、もしも、かないませんなら、どうか、あなたがお書きになったあなたの書物から、私の名を消し去ってください。」と神に切にすぎた(出32:32)。

モーセもまた、このように大きい愛と謙遜な心を持って(民12:3)神に喜ばれたので、光である神と深い交わりを築くことができた。私たちが光である神と交わりを保つなら、ダビデやモーセのように神の近くにいるべきであり、求めるものは何でもいただくことができる、真実な関係にならなければならない。

ところが、多くの人がみことばを頭に知識としてだけ入れておいたことを神と交わりを保っていると錯覚

している。もしみことばを知っていても行わないならば、神の力を引き下ろしたり、支えられたりすることができず、祈りの答えを頂くのも遅くなるしかない。

また、肉的な忠実とともに重要なのが霊的な忠実だ、ということも知らなければならない。霊的な忠実とは、心の割礼をして、正義とあわれみと誠実を実践することを言う。〈マタイ23:23〉に「わざわざい。偽善の律法学者、パリサイ人。おまえたちは、はっか、い のんど、クミンなどの十分の一を納めているが、律法の中ではるかに重要なもの、正義とあわれみと誠実を、おろそかにしているのです。これこそしなければならぬことです。ただし、十分の一もおろそかにしてはいけません。」とある。

ここで「正義」とは、神からの義、すなわち、罪を捨ててみことばに聞き従っていくことを意味する。次に「あわれみ」とは、神の戒めを守りながら隣人には愛と徳をもって善だけを行うことを意味する。最後に「誠実」とは、神がおられることと、神を求める者には報いてくださることとを信じて、その教えを守り行うことを意味する。まさに正義とあわれみと誠実を実践することが心の割礼をすることであり、また、律法の中ではるかに重要なものだ、ということも悟らなければならない。

「ただし、十分の一もおろそかにしてはいけません。」とあるので、各種の礼拝に参加して、十分の一献金の生活をするなどの行いも基本的に伴うべきである。しかし、まずすべきことが何であり、その内容と形式は何か、明らかにわきまえ知らなければ



Manmin Central Church

Tel: 82-2-818-7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: jujinkyung@hotmail.com



GCN
Global Christian Network

Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.gcntv.org
e-mail: webmaster@gcntv.org



WCDN
World Christian Doctors Network

Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

万民ニュース

Japanese

発行人: イ・ジェロク
編集者: ビン・グンソン
www.manmin.org/Japanese
www.manminnews.com
編集発行: 万民中央教会
〒08389 韓国ソウル市クロ区デジタル路26キル29
TEL: 82-2-818-7063 FAX: 82-2-818-7048

ならない。

光である神は<レビ11:45>で「…あなたがたは聖なる者となりなさい。わたしが聖であるから。」と仰せられた。イエス様は<マタイ5:48>で「だから、あなたがたは、天の父が完全なように、完全でありなさい。」と言っておられる。私たちも昔の信仰の人々のように光である神と交わりを保つには、心の割礼を通して聖であり完全な神に似せられ、神に喜ばれる信仰を持たなければならない。

2. 割礼の聖書的背景と心の割礼

割礼とは、生まれて八日目に男子の性器の包皮を切り取る儀式のことを言う。このような割礼を、神はアブラハムに初めて命じられ、イスラエルの民と神との間の永遠の契約のしるしとして立てられた。また、割礼に関するおきてを代々守りなさいと命じられ、割礼を受けていない男子は神の民の中から断ち切られると仰せられたので、割礼は救いと直結する重要なおきてであることがわかる(創17:9~14)。

ところで、<ヘブル10:1>に「律法には、後に来るすばらしいものの影はあっても、その実物はないのですから、…」とある。ここで律法とは旧約のことであり、後に来るものは新約、すなわち、イエス・キリストを通した幸いな知らせを意味する。したがって、割礼は新約時代に生きている私たちにも適用されるみことばであり、これは肉体的な割礼でなく、霊的な割礼として心の割礼を受けるべきことを言っている(申10:16,30:6;ローマ2:28~29)。

<エレミヤ4:4>に「…【主】のために割礼を受け、心の包皮を取り除け。…」とあるとおり、私たちの心の包皮を取り除くことがすなわち心の割礼である。聖書に「しなさい、してはならない、守りなさい、捨てなさい」とあるとおりに聞き従うことを意味している。

ところで、心の割礼は一度で終わるのではなく、聖霊を受けたからといって一瞬にしてなされるのではない。失った神のかたちを完全に回復するまで、継続的にしなければならないのだ。

まずは肉の行い、すなわち、行いとして現れるすべての罪をすみやかに断ち切らなければならない。まだ酒とタバコをやめていなければ断ち切らなければならない。憤りが多い人は憤りを捨てて柔和な人に変えられなければならない。このように行いとして現れる罪を捨てたら、次には心にある罪の性質を捨てる、すなわち、肉体的なことをもっぱら考えないようにしなければならない。火のような祈りと断食で自分が努力する上に、聖霊に助けられ、神によって強くされる時、親から受け継いだ気の中にある罪の性質まで取り出すことができる。そのようにして、からだに結びついた罪の性質、すなわち、肉そのものを根ごと引き抜いてこそ、肉の思いもなくなり、内からキリストの香りを放つことができるのだ。

次には、神の御目に悪であることを捨てなければならない。義と粹など、自分が見て正しいと感ぜられるが、神の御目には正しくなく、悪であることがある。たとえば、イエス様が捕えられた日の夜、ペテロが大祭司のしもべマルコスの耳を切り落とした。これは危険な状況に置かれた師を守ろうとする心から出た行動だったが、神の御目には正しくないことだった。

私たちがイエス・キリストを救い主として受け入れて聖霊を受ければ、主日を完全に守ることと十分の一献金の生活、祈りの生活は当然すべき基本的なことである。さらに神と交わって深く神のわざを論じる人になるためには、何よりも神が光であられるので、

私たちが光の中を歩まなければならない。

このような時にはじめてイエス・キリストの血が私たちがをきよめるだけでなく「まことに、神である主は、そのはかりごとを、ご自分のしもべ、預言者たちに示さないでは、何事もなさない。」(アモ3:7)とあるとおり、神が理解を越えた大いなる事まで教えてくださるのだ。

3. 神の子どもが光の中を歩むべき理由

イエス・キリストを受け入れた神の子どもたちは主が教えてくださった祈禱文にならって、毎日「われらに罪を犯す者を、われらが赦すごとく、われらの罪をも赦したまえ。」(マタ6:12)と祈って生きていく。

もし自分の兄弟は赦さないのに自分の罪を赦してくださいと願うなら、これは神の御前にふさわしくない姿である。だから、イエス・キリストの血によって自分の罪が洗われることを願うなら、まず光の中を歩むべきである(ヨハ1:7)。

また、イエス様が私たちの罪を贖ってくださったので罪の赦しは受けたが、心の根にある罪の性質は残っているので、神は心の割礼を命じられたのだ。私たちが光の中で生きていくとき、死の道から出て来て神の子どもとされる祝福を頂ける。それで、神は正しい道に行くように 愛の心から試みに会わせ、時には懲らしめを加えられたりもなさる。

それでは、イエス様の血がどのようにして私たちがすべての罪からきよめるのだろうか。<ヨハネ6:53~54>に「…人の子の肉を食べ、またその血を飲まなければ、あなたがたのうちに、いのちはありません。わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠のいのちを持っています。わたしは終わりの日にその人をよみがえらせます。」とある。ここで「人の子」

とはイエス様を指し、「人の子の肉」とは真理のみことばのことである(ヨハ1:1,14)。「人の子の肉を食べる」とは、聖書66巻に記された神のことばを糧とすることを意味する。また、「血を飲む」とは、みことばを心に信じて、そのまま行うことである。

すなわち、聖書66巻に記された神のことばをよく糧として実践していくと、真理が私たちの中に入って来て、栄養分として消化吸收され、すべての罪と悪はカスとして排泄される。だから真理の人になって、永遠のいのちを得ることができるのだ。

私たちが愛という真理を心に植えつけて行うほど、みことばが栄養分として吸収され、憎しみ、ねたみ、そねみの心はカスとして排泄されて愛の心になる。このような原理で、心からすべての悪を取り出して排泄するほど、きよい心に変えられる。

そうしてだんだんと御霊の人、真理の人へと変えられていく過程を、主と私たちが「互いに交わりを保つ」と言うのであり、このような交わりを通して光の中を歩む霊的な人になるのだ。

愛する聖徒の皆さん、

イエス・キリストを受け入れてみことばどおり行い、光である神と交わりを保つとき、御子イエス・キリストの血が私たちがすべての罪からきよめることができになる。このように光の中を歩む霊的な人になってこそ、神に栄光を帰す生き方ができる。さらに、光の中に完全にとどまるようになれば、「神の友」と呼ばれた信仰の父アブラハムのように、神と深く交わり、秘密のない間柄になるのだ。神に喜ばれる信仰を持ち、ただ光の中を歩むことで神に愛されて認められ、思う存分栄光を帰すことができるように、主の御名によって祈る。

「すみやかに、完全に 堂会長先生のいやしの祈りでいやされました」



チョン・オンナン勸士(59歳、韓国1大大9教区)は右手首に結節腫ができて飛び出していたが、ダニエル徹夜祈禱会のたびに堂会長イ・ジェロク牧師のいやしの祈りを信仰によって受けた結果、完全になくなった。

超音波写真



▲ 祈りを受ける前:0.85cm大の結節腫が右手首の上に見える ▲ 祈りを受けた後:右手首の上にあった結節腫がなくなる



ビョン・ヒョンジャ勸士(49歳、韓国4カナン宣教会)は左肩に石灰沈着による激痛があったので、左腕が全く動けなかった。自分を省みて悔い改めた後、堂会長イ・ジェロク牧師の電話自動応答のいやしの祈りを受けたが、三日目に完治した。



▲ 祈りを受ける前:左肩に石灰化沈着が見える ▲ 祈りを受けた後:石灰化沈着が見られない



キル・キップム姉妹(28歳、韓国テジョン万民教会)は右手の小指にけがをして第一関節が折れていたが、堂会長イ・ジェロク牧師のいやしの祈りと神の力が込められたハンカチの祈りで折れた骨がついて正常になった。

レントゲン写真



(左)祈りを受ける前:右小指の第一関節の先に粉碎骨折が見える

(右)祈りを受けた後:粉碎骨折した部位が元の位置によく癒合している

3月支教会スケジュール

3月24日(日)

松本万民教会

リバイバルいやし集会(講師:伊藤正明牧師)

3月31日(日)

名古屋万民教会

癒し集会(講師:時國みや子牧師)

いのちのみことばで新しく生まれ、救いの確信を持って福音を伝えると 支聖殿を建て上げて、祝福もされています!

2007年のある日、ホンジュラスJBNテレビ(社長 エステバン・ハンダル牧師)で「信仰の量り」をテーマにしたセミナーを視聴しました。私はメッセージに感銘を受けました。ホンジュラスでもアメリカ全域でも聞いたことのないメッセージでした。

いのちの糧を求めて万民教会に登録

私はインターネットで探して、これが韓国の万民中央教会の堂会長イ・ジェロク牧師先生がされた説教だとわかり、先生のメッセージをインターネットで聞き始めました。「十字架のことば」「天国」「地獄」「信仰の量り」など宝のようなメッセージを聞くと、救いの確信を持つようになり、天国への希望があふれました。

2011年にインターネットで登録しましたが、地球の反対側で生放送で礼拝をささげるのは楽ではありませんでした。それで、少しでも万民に似た信仰生活をしている教会を探してみました。主日礼拝をささげるためにいくつか教会に行ってみましたが、万民教会を慕う心は大きくなるばかりでした。

2015年11月、うれしい知らせを聞きました。万民中央教会の教職者会長、イ・スジン牧師先生が集会を導きに来られるというのです。私は三回の集会に参加して、聖潔の福音に感謝しました。神様のみこころを正しく知って信仰生活ができるということに感動させられました。

慕う人々が集まって支聖殿を建てる

ある日、私はFacebookで堂会長先生の説教を共有しているカルロス・レオン兄弟を知ることになりました。彼が勧めてくれた教会の集まりにも行ってみましたが、私の霊的な渴望は満たされなかったのです。なぜなら、万民中央教会と同じ信仰生活をしている教会をどうしても見つけたかったからです。

それで、2017年9月から、堂会長先生の説教を慕う聖徒数人と、交代にそれぞれの家で礼拝をささげるようになりました。幸いにもコロンビア万民教会の担任チャン・ジョンヨン牧師先生とつながって、YouTubeでコロンビア万民教会の礼拝と活動に参加できるようになりました。毎日ダニエル徹夜祈禱会と各種の礼拝に参加していて、今ではブラジル、アメリカ、アルゼンチン、ベネズエラ、エクアドル、チリなどから30~40か所が参加しています。

2018年3月には別に場所を得て支聖殿を建て、現在18人の聖徒が聖霊で一つになって信仰生活をしています。私たちは神様と主の愛を体験し、いやしと答え、財政の祝福も頂いています。



エクトル・アントニオ・アヤラ聖徒
(51歳、ホンジュラス・サンペドロスーラ)

いやし、答え、祝福の中に生ける神様を見つける
ブランカ・クラロス聖徒(女性・45歳)は深夜、突然脊椎の激痛で目が覚めました。全く動けず、死ぬのではないかという恐怖に捕らわれました。娘に助けってもらって、堂会長イ・ジェロク牧師先生の祈りで神の力が込められたハンカチ(使19:11-12)を当て、録画でいやしの祈りを受けました。その後、痛みがなくなり、完全に正常になりました。

イシス・ジョセリー・パス聖徒(女性・24歳)は皮膚病のいやしのために堂会長先生に祈りをお願いするEメールを万民中央教会に送りました。また、自分を省みて祈り、変えられようと努めました。その結果、堂会長先生はソウルで祈ってください、時間と空間を超えて彼女は完全にいやされました。今は天国への希望で満たされています。

フェルナンド・マルティネス(男性・37歳)は2002年にイ・ジェロク先生が導かれたホンジュラス連合大聖会に参加し、力あるメッセージを聞き、神の力あるわざを目撃して驚きました。その時の感動が今でも残っているそうです。最近、堂会長先生の説教を聞いて十分の一献金を正しくする方法を学び、これを実践すると財政の祝福も受けています。ひどい頭痛もいやされました。彼の奥さんは画面で堂会長先生の顔を見た瞬間、肩の痛みがなくなるという不思議な体験もしました。

まことの信仰に変えられていくと家庭に幸せが

ホンジュラスに支聖殿が建てられた後、みことばを通してまことの信仰について多くを学んでいるので、とても幸せです。聖潔の福音は心の中にある罪と悪に光を当て、それを捨てる方法まで教えてくれます。どう祈るべきで、十分の一献金はどうすべきかを学ぶにつれて、私たちの信仰は成長しています。また、手本を見せてくださる堂会長先生にならって、心の割礼のために努力しています。

私たちが万民の羊の群れになった後、子どもたちも変えられています。朝と晩に祈り、最も素晴らしい天国、新しいエルサレムへと走っています。私たち夫婦も変えられることに努め、神の国のために仕えようと、健康と財政の祝福を頂いています。

愛なる神様は私たちが万民の羊の群れとして召してください、救いの確信を持って信仰生活ができるように祝福してくださいました。何よりも真実の神のしもべに出会って、いのちのみことばと神の力あるわざから想像しうる最高のものを得ています。神様の愛に感謝し、この聖めのみことばがより多くの人に宣べ伝えられることを願っています。

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

●イエス・キリスト飯田万民教会
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石
3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>

●イエス・キリスト山形万民教会
〒999-3716 山形県東根市蟹沢
1486-4
T) 0237-43-0771

●イエス・キリスト旭川万民教会
〒071-8144 北海道旭川市春光台4
条3丁目11-23
T) 0166-53-0652

●イエス・キリスト松本万民教会
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003

●イエス・キリスト東京万民教会
(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪
2-29-13
T) 03-6915-1740

●名古屋万民教会
〒465-0014 名古屋市名東区上菅
1-916
T) 052-774-8874

●イエス・キリスト別府万民教会
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町
4-41
T) 0977-23-8980

●イエス・キリスト東京田端万民教会
〒114-1102 東京都北区田端新町3
丁目36-1 栄ビル2F
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>

●岡山万民教会
〒716-1321 岡山県高梁市有漢町有漢
3206
T) 0866-57-9691

●イエス・キリスト沖縄万民教会
〒901-2212 沖縄県宜野湾市長田1-28-
10 サンライズ米須301号
T) 098-914-3027